

【難しい問題】（難易度：難）

「環大西洋革命」とは、18世紀後半から19世紀前半にかけて、大西洋を挟んで連鎖的に起こった、イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオン戦争、中南米の独立運動などを、1つの動きとしてとらえるものである。

次に挙げる各文章は、「環大西洋革命」において活躍した人物に関するもので、いずれも大西洋横断を経験している。それぞれの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1 ペンシルヴェニア植民地のランカスターで生まれる。当初は肖像画家をしていたが、イギリスに渡り、当時進行中だった産業革命に接し、機械の発明に転じた。その後、 A 戦争に湧くフランスに渡り、 A の要請により世界初と言われる潜水艦を設計したが、フランス政府への売り込みには失敗した。さらに蒸気船の開発にも成功し、セーヌ川で試走したが、フランス政府がその建造に賛成しなかったため、祖国に戻った。その後、ピストンの上下運動を回転運動に変える技術で特許を取っていた(①)の蒸気機関を搭載した蒸気船クラモント号でハドソン川を航行し、ニューヨークとオルバニー間 240km を 32 時間で結び、(あ) 世界で初めて蒸気船の実用化に成功した。

2 オーヴェルニュ地方のシャヴァニャックの貴族の家に生まれる。13歳で士官となりブルボン朝に仕えた。アメリカ独立戦争に義勇兵として参加し、指揮官となった。ヴァージニア植民地でイギリス軍の進撃を食い止め、独立戦争最後の(②)の戦いにおいて、イギリス軍を降伏させる勝利に貢献した。祖国に戻った後、全国三部会の議員となり、国民議会の創設後、 B の助力も受けて、(い) 人権宣言の起草に関わった。バスティーユ牢獄襲撃後、パリの国民衛兵司令官となったが、八月十日事件の後、(③)が成立すると、王権停止に反対した。司法大臣ダントンにより逮捕状が出されると、オーストリア領ネーデルラントに逃亡したが、そこで捕らわれの身となった。その後、 A により自由が保障されたため、帰国したものの、 A 政権への参加は拒否した。王政復古後は自由主義派の議員となり、のちの七月革命にも関わった。

3 マサチューセッツ植民地のボストンの蝋燭製造業者の子として生まれる。イギリスに渡り、ロンドンで植字工として働いた後、帰国し、印刷業に就いた。フィラデルフィアでの印刷出版業に成功し、初の公共図書館を設立した。また嵐の実験により、雷が電気の働きであることを証明し、避雷針を発明している。イギリス本国との対立が深まると、イギリスに渡り、議会を通過した(④)の撤廃に成功した。独立戦争の勃発後、第2回大陸会議により郵政長官に任命された後、独立宣言の起草委員となり、その中心となった B とともに署名した政治家の1人となった。外交使節としてヨーロッパ諸国を遊説し、(う) アメリカ独立戦争へのフランスの参戦と経済支援を実現させた。イギリスとの講和のために結ばれたパリ条約にアメリカ全権として参加している。帰国後はペンシルヴェニア州知事を務め、憲法制定会議に参加、連邦派と反連邦派との調停に貢献した。

4 リトアニア大公領のブレスト州の貴族の家に生まれる。ワルシャワの幼年学校を卒業後、ドイツ・イタリア・フランスに行き、軍事教育を受けた。アメリカ独立戦争に義勇兵として参加し、ワシントンの副官となって活躍した。その間、特に B の自由主義思想に強く影響を受け、帰国した。第1回(⑤)分割下の祖国で自由主義憲法制定に関与したが、ロシア・プロイセンによる第2回(⑤)分割が行われると国外に亡命した。(え) 翌年、クラクフで民衆蜂起が起こると、再び帰国し、国民軍最高司令官となり、一時ワルシャワを解放した。その後、ロシア軍との戦いに敗れ、国外追放となり、フランスにも亡命したが、 A の対(⑤)政策には反対した。

5 南アメリカのカラカスでクリオーリョの名家に生まれる。ヨーロッパに渡り、各国を游学して廻った。フランスで A に影響を受け、祖国の独立を志すようになったといわれる。 A がスペインを征服し、兄ジョゼフをスペイン王にしたことが、ラテンアメリカ各地での独立の気運を高めることになった。スペイン軍との戦いで各地を転戦して勝利をおさめ、(お) 大コロンビア共和国(ベネズエラ・コロンビア・エクアドル)の独立を宣言し、

大統領となった。その頃、チリを独立させていたアルゼンチン出身の(⑥)が北上し、共闘を申し入れてきたが、(⑥)が君主政を構想していたのに対し、あくまでも共和政を考えていたため、協力を拒否している。

6 ノーフォーク州セトフォードにコルセット製造業者の子として生まれる。職業を転々とした後にアメリカに渡り、フィラデルフィアでジャーナリストとして活躍した。(か)『コモン=センス』の出版により、植民地における独立への気運を大いに高めた。独立戦争中、ワシントンのもとで論文などを発表し続けた。その後、フランスへ渡り、フランス革命を支持するなどして、市民権を与えられた。(③)の議員にも選ばれたが、ルイ 16 世の処刑に反対する演説を行い、逮捕された。その後釈放され、B 大統領時代のアメリカ合衆国に渡り、連邦派と対立、奴隷制反対を説いた。

7 イスパニョーラ島西部のフランス植民地(⑦)の農園に奴隷として生まれる。農園の管理者や司祭から、読み書きとフランス語・ラテン語を学んだ。その後、独学でさまざまな技能・知識を習得し、歴史書や啓蒙思想書に親しんだ。アメリカ独立やフランス革命の影響を受け、独立運動を開始した。フランス革命中、ジャコバン派が主導していた(③)が奴隷制廃止を採択したため、フランスに協力、イギリス軍をイスパニョーラ島から撃退し、独立を宣言した。その後新政府を組織したが、A が独立阻止のために派遣したフランス軍に捕らえられ、フランスで獄死した。その後、彼の意志を継いだ指導者らにより独立闘争が続けられ、(き) ハイチは独立を実現した。

(問い)

- 1 文章中のA・Bにあてはまる**人名**をそれぞれ答えなさい。
- 2 文章中の(①)～(⑦)にあてはまる、最も適切な語句を答えなさい。
ただし、①・⑥は**人名**、②・⑦は**地名**、③は**議会**の名称、④は**法**の名称、⑤は**国名**を答えること。
- 3 それぞれの文章にあてはまる**人名**を答えなさい。
- 4 文章中の下線部 _____ の出来事について。それぞれが起きた時期を考え、古い年代順に並べかえなさい。**あ～き**の記号で答えること。

【正解】

- 1 A…ナポレオン B…トマス=ジェファソン
- 2 ①ワット ②ヨークタウン ③国民公会 ④印紙
⑤ポーランド ⑥サン=マルティン ⑦サン=ドマング
- 3 1 フルトン 2 ラ=ファイエット 3 フランクリン
4 コシューシコ(コンチューシコ) 5 シモン=ボリバル
6 トマス=ペイン 7 トゥサン=ルヴェルチュール

4 か → う → い → え → き → あ → お

※あ…1807 年 い…1789 年 う…1778 年 え…1794 年 お…1819 年
か…1776 年 き…1804 年